

①取組項目名	病院	
②取組の目的	一般会計繰出金額の見直し	
③現在の目標	不採算分野等に対する一般会計からの繰出金額については、効率的な経営の視点から、引き続き検討を行う。	
④目標達成に向けた取組み	<p>《繰出金見直しの取組み経緯》 今まで取り組んできた繰出金の削減は以下の通り。 ・H26年度:約1億1千万円(対前年度比) ・H27年度:約6千万円(対前年度比) ※H28年度以降についても適宜検討を行う。</p> <p>《病院事業の経営状況》 1. 27年度決算について 27年度決算は単年度実質収支ベースで赤字を計上した。 その主な要因は、入院患者数が予想を大きく下回り、料金収入が26年度決算比で約1.5億円の減となったためである。各病院の収入減の要因は以下の通り。 ・医療センター:周産期患者の減少や化学療法の外來への移行 ・八幡病院:内科医師の確保が十分できなかったことや救急患者の減少</p> <p>2. 今後の取組 経営改善のため、 ・医療センター:地域連携による患者の紹介・逆紹介の推進 ・八幡病院:救急患者の受入促進と今後増加が予想される疾病への対応 など、収入増加に向けて取り組むこととし、合わせて、後発医薬品の導入や物品管理の見直しなどによる材料費の削減や、委託料の見直しなどによる経費の削減にも取り組む。</p>	
⑤これまでの取組状況		
取組内容	平成26年度 計画	平成26年度 結果
	不採算分野等に対する一般会計からの繰出金額については、地方公営企業法に定める一般会計との負担区分や能率的な経営の視点から、引き続き見直しを行う。	不採算分野等に対する一般会計からの繰出金額については、地方公営企業法に定める一般会計との負担区分や効率的な経営の視点から、削減に取り組んだ。
	平成27年度 計画	平成27年度 結果
	不採算分野等に対する一般会計からの繰出金額については、地方公営企業法に定める一般会計との負担区分や能率的な経営の視点から、引き続き見直しを行う。	不採算分野等に対する一般会計からの繰出金額については、地方公営企業法に定める一般会計との負担区分や効率的な経営の視点から、削減に取り組んだ。

平成27年度 病院事業会計決算（前年度決算対比）

（単位：千円）

区 分		平成26年度 決算額(A) (税込)	平成27年度 決算額(B) (税込)	増 減(C) (B)-(A)
収 益 的 収 支	収 益	23,714,276	23,565,191	▲ 149,085
	料金収入	20,387,287	20,240,974	▲ 146,313
	入院収益	14,610,037	14,127,420	▲ 482,617
	外来収益	5,777,250	6,113,554	336,304
	一般会計繰入金	2,506,911	2,496,901	▲ 10,010
	その他	820,078	827,316	7,238
	費 用	24,653,551	24,713,957	60,406
	給与費	12,556,985	12,887,632	330,647
	材料費	5,473,452	5,844,154	370,702
	経 費	3,560,844	3,610,235	49,391
	減価償却費	1,472,714	1,484,594	11,880
	企業債利息等	245,095	225,981	▲ 19,114
	そ の 他	1,253,050	564,946	▲ 688,104
	雑損失（消費税）	91,411	96,415	5,004
当年度純利益（純損失）		▲ 939,275	▲ 1,148,766	▲ 209,491
資 本 的 収 支	収 入	2,069,235	2,027,902	▲ 41,333
	企業債	1,033,600	1,157,000	123,400
	一般会計繰入金	1,029,857	843,785	▲ 186,072
	その他	5,778	27,117	21,339
	支 出	2,952,793	3,318,180	365,387
	建設改良費	1,271,874	1,337,621	65,747
	企業債償還金	1,680,919	1,780,559	99,640
	長期借入金償還金	0	200,000	200,000
差引過不足額		▲ 883,558	▲ 1,290,278	▲ 406,720
補 填 財 源		1,640,969	713,632	▲ 927,337
単年度実質収支		757,411	▲ 576,646	▲ 1,334,057
年度末資金剰余		4,293,932	3,717,286	▲ 576,646